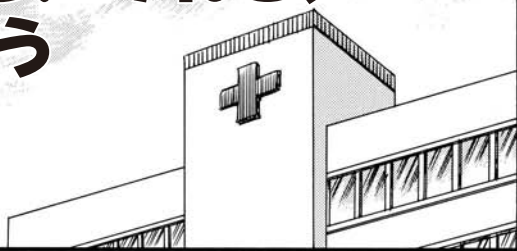


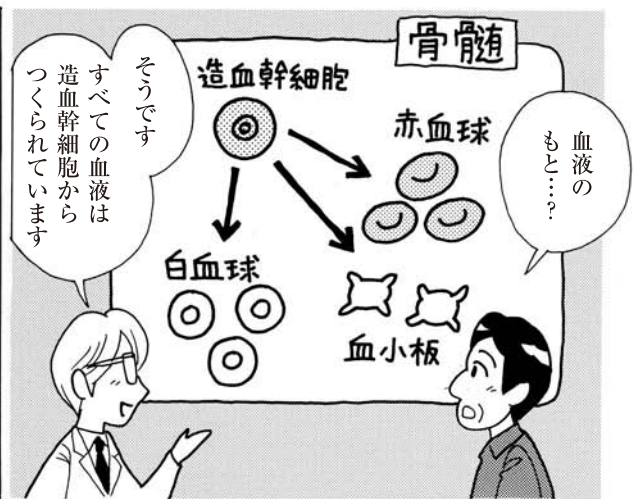
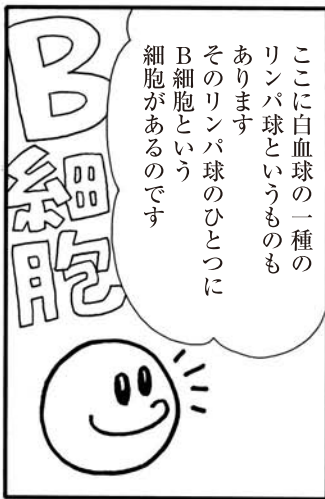
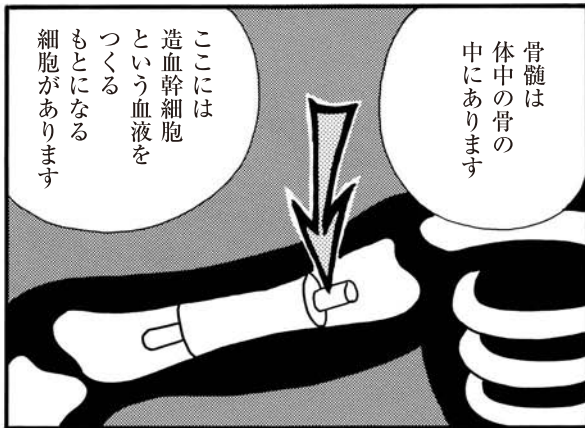
マンガでわかる医学

骨髄腫はしぶといけれど、 うまくつきあおう

絵 丸岡 巧

企画 ライフポート編集部







体内に侵入した
ウイルスなどの
異物に出会うと
B細胞は
形質細胞に
変わります



形質細胞は
「抗体」をつくり
異物を攻撃して
体を守ります



…そうなる
とどうな
ってしまう
んですか？



その形質細胞が
がん化する病
気なのです！！



ええ

なるほど！
それは大切
な働きです
ね

がん化した
形質細胞は
役に立たない
抗体ⅡMタンパクを
つくります



マンワ

つまり今まで
体を守るために
働いていたのが
不良化して

役目をきちんと
果たさなくなっ
てしまうのです



そんな…



この「がん化」が
体中の骨の中で
起こるため
多発性骨髄腫
という名前が
ついたのです

あわわわ

でも私の場合
腰が痛いんですが
それがなぜ
多発性骨髄腫と
なるんですか？

イテテ…



骨髄腫の患者さんは
人それぞれ
いろいろな症状が
出てくるのです

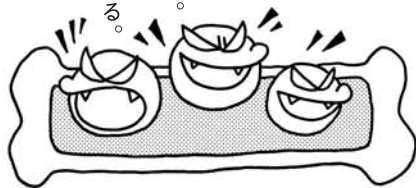
骨髄腫細胞が
する悪さを
まとめて
みましよう



骨髄腫細胞によるさまざまな障害

血液細胞が
つくれなくなる

骨髄腫細胞が
骨髄を占領し、
正常な血液細胞が
つくりにくくなる。
役立たずな
抗体ばかりが増える。



貧血、
出血が止まりにくくなる
などの症状が
起こる。
感染症に
かかり
やすくなる。



骨をもろくする

骨髄腫細胞は
増えながら
骨をもろくして
いつてしまう。



腰や
背中の
痛み。

骨折
しやすく
なる。



Mタンパクが
さまざまな
悪さをする

役立たずの抗体
「Mタンパク」が
臓器にたまって
働きを妨げたり、
血液をドロドロに
してしまう。



むくみ、尿の量が減る
などの腎障害

頭痛、
目が見えにくく
なるなど





- 骨の病変の進行を抑え
症状を出にくくする薬を使う
(ビスフォスフォネート製剤など)
- 放射線治療
骨の痛みを抑える
骨折を予防する
- 手術
骨折の治療
骨の補強
- その他

治療法は大きく分けて
**骨髄腫細胞を
減らすための治療と**

私の
腰の痛みは
こっちはですね

骨髄腫のために出てきた
症状を抑えるための治療
に分けられます

●抗がん剤治療
●大量化学療法
(一般には自家移植という)
●同種移植
(ほかの人の造血幹細胞を移植)
●放射線治療
(がんの固まりがあるとき)

